

平成27年度
斜里町真鯉地区エゾシカ捕獲事業

報告書



平成28年3月
北海道森林管理局

目次

1. はじめに	1
2. 事業実施場所および工程	1
3. ワナの構造および捕獲方法	5
3-1. ワナの構造	5
3-2. 誘引および捕獲の方法	15
4. 事業実施結果	21
4-1. オシンコシン崎1 囲いワナ	21
4-2. オシンコシン崎2 囲いワナ	24
4-3. 金山川箱ワナ	27
5. 考察	29
6. 付録：現場作業の実施状況・記録写真	32
6-1. オシンコシン崎1 囲いワナ	32
6-2. オシンコシン崎2 囲いワナ	51
6-3. 金山川箱ワナ	73

1. はじめに

知床半島にはエゾシカが高密度で生息しており、世界自然遺産登録後はエゾシカの採食圧による環境への悪影響を緩和すべく、知床世界自然遺産地域科学委員会のエゾシカ・陸上生態系ワーキンググループにおける議論を受けて、各行政機関が個体数調整事業を半島内各地で実施している。

本事業は、知床半島における高密度のエゾシカ生息による森林被害等の採食圧の低減を図り、原生的な生態系を回復させるため、囲いワナによるエゾシカ生体捕獲を実施し、個体数の調整を図るとともに、捕獲の効果やエゾシカの生息状況等を把握することにより、次年度以降の捕獲計画に資することを目的として実施した。

2. 事業実施場所および工程

本事業における捕獲実施場所は、知床半島の西側に位置する北海道斜里郡斜里町ウトロ西国有林 2 カ所と金山川左岸の林道沿い（網走南部森林管理署 1376 林班は小班外；オシンコシンの滝上部の国有林内 2 カ所）である。ウトロ西国有林では、1 カ所は囲いワナを新たに設置し、もう 1 カ所は既設の囲いワナを改築し（図 1, 写真 1, 2）、捕獲を実施した。（以下、既設の囲いワナはオシンコシン崎 1 囲いワナ、今年度新設の囲いワナはオシンコシン崎 2 囲いワナとする）。囲いワナの設置場所はいずれも国指定鳥獣保護区内で一般ハンターによる狩猟は行われていないが、近接するエリアでは狩猟や管理捕獲が行われている。また、金山川左岸では、林道沿いに設置された既設の箱ワナ 3 基（以下、金山川箱ワナとする）を用いて捕獲を実施した。金山川箱ワナの設置場所は、可猟区で一般ハンターによる狩猟が例年 10 月末～2 月末まで行われている場所である。



図1. 本事業における囲いワナ及び箱ワナの設置位置図.



写真 1. オシンコシン崎 1 囲いワナ改築前の状況.



写真 2. オシンコシン崎 2 囲いワナ作設前の状況.

オシンコシン崎 1 囲いワナは別事業によって昨年度の平成 27 年 1 月に設置された。本事業では、捕獲装置の変更に伴う捕獲用落とし扉の改良を行った。本事業における改築工事は、契約締結後の平成 28 年 1 月 22 日に着工し、同 1 月 28 日に完成した。捕獲用落とし扉の部材は 1 月 18 日に現場に到着していたが、1 月 19～20 日は暴風雪、21 日は除雪を行ったため、着工は 22 日となった。囲いワナの餌付け誘引は、改築着工前の 1 月 7 日から開始し、捕獲を 2 月 5 日から 3 月 23 日の期間延べ 48 日間実施した。

オシンコシン崎 2 囲いワナの作設工事は、契約締結後の平成 28 年 1 月 29 日より着工し、平成 28 年 2 月 5 日に完成した。囲いワナの餌付け誘引はワナ着工前の 1 月 13 日に開始し、捕獲を 2 月 10 日から 3 月 23 日の期間延べ 43 日間実施した。

上記の通り、ワナ完成後も直ちに捕獲は行わず、しばらくはワナ内外に給餌のみ行い、エゾシカがワナ内部への出入りに十分に慣れたと判断した後、捕獲体制に移行した(表 1)。

捕獲体制移行前のエゾシカのワナ内部への出入りに慣れさせる期間は、オシンコシン崎1 囲いワナでは1月26日（ワナ完成前）から2月5日までの11日間、オシンコシン崎2 囲いワナでは、2月4日（ワナ完成前）から2月10日までの7日間であった。

なお、オシンコシン崎1及び2の両囲いワナ付近において事業期間中は当該地域付近で希少猛禽類が警戒する様子も、つがいと思われる成鳥等も確認されなかった。

金山川箱ワナは餌付け誘引を2月3日から開始し、捕獲は3月3日から3月23日の延べ21日間実施した。金山川箱ワナへアクセスするための林道除雪は、2月1日以降適宜実施し、常に車両が通行できる状態を維持した。

また、各ワナ周辺のエゾシカの生息状況確認は、定期的に国道上から視認できる範囲で実施した。

表1. 本事業の実施工程

項目	12月		1月		2月			3月					
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
捕獲許可申請	←→												
囲いワナ改築 (オシンコシン崎1)					←→								
囲いワナ作設 (オシンコシン崎2)					←→								
囲いワナ餌付け誘引 (オシンコシン崎1)			←→										
囲いワナ餌付け誘引 (オシンコシン崎2)			←→										
箱ワナ餌付け誘引 (金山川)					←→								
ワナ周辺の シカ生息状況等把握	←→												
ワナ内外・搬出路の除 雪					←→								
生体捕獲・運搬					←→								
捕獲装置撤去											↔		
報告書作成									←→				

3. ワナの構造および捕獲方法

3-1. ワナの構造

囲いワナ

本事業に使用した囲いワナは仕様書の設計を基本として改築（図 2、図 6～8）または新規に作設（図 3～8、写真 3～5）し、エゾシカの捕獲を行った。

オシンコシン崎 1 囲いワナは昨年度の事業では、人がワナをモニターで監視して落とし扉を落下させる方式の捕獲装置を使用していた。本事業では無人でワナを監視して落とし扉を落下させる自動捕獲装置を使用するため、適合する規格の捕獲用落とし扉を付け替える改築工事を行った。

オシンコシン崎 2 囲いワナは本事業で新規に作設された囲いワナであり、当初より自動捕獲装置用の捕獲用落とし扉を使用した。また、両囲いワナで設置した捕獲用落とし扉枠の内側部材（図 7）と外側部材（図 8）については、追加の溶接が必要であることが現場で判明したため、内側と外側を上・中・下 3 対の計 6 カ所で溶接し、さらに内側部材の一部として上部に滑車を溶接した（写真 6, 7）。なお、捕獲したエゾシカが暴れないように捕獲用落とし扉全体にベニヤ板を張って遮蔽し、扉落下後にワナの外が見えないようにした（写真 6）。図 7、8 における「トリガー」の部分は後述する自動捕獲装置（写真 10）の一部のため、溶接ではなくボルトとナットを用いた着脱可能な方法で設置した（写真 8）。

両囲いワナの改築・作設に使用した部材の一覧をそれぞれ表 2, 3 に示した。

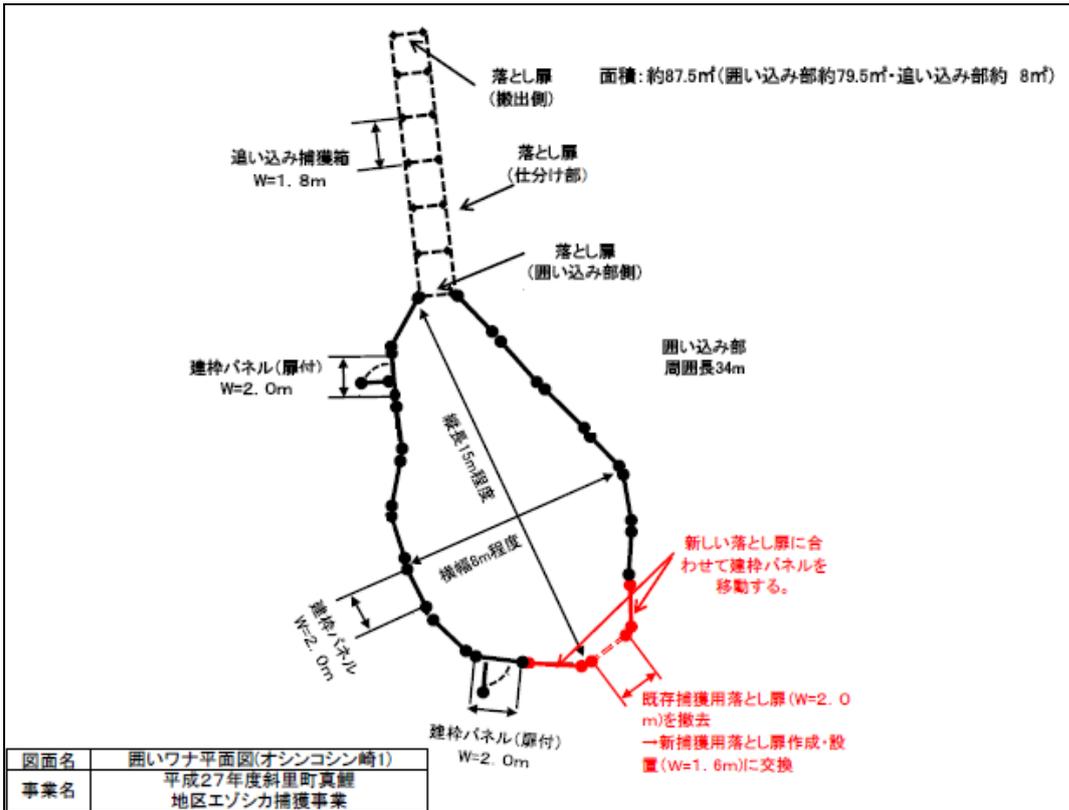


図 2. 本事業で改築したオシンコシン崎 1 囲いワナの平面図.

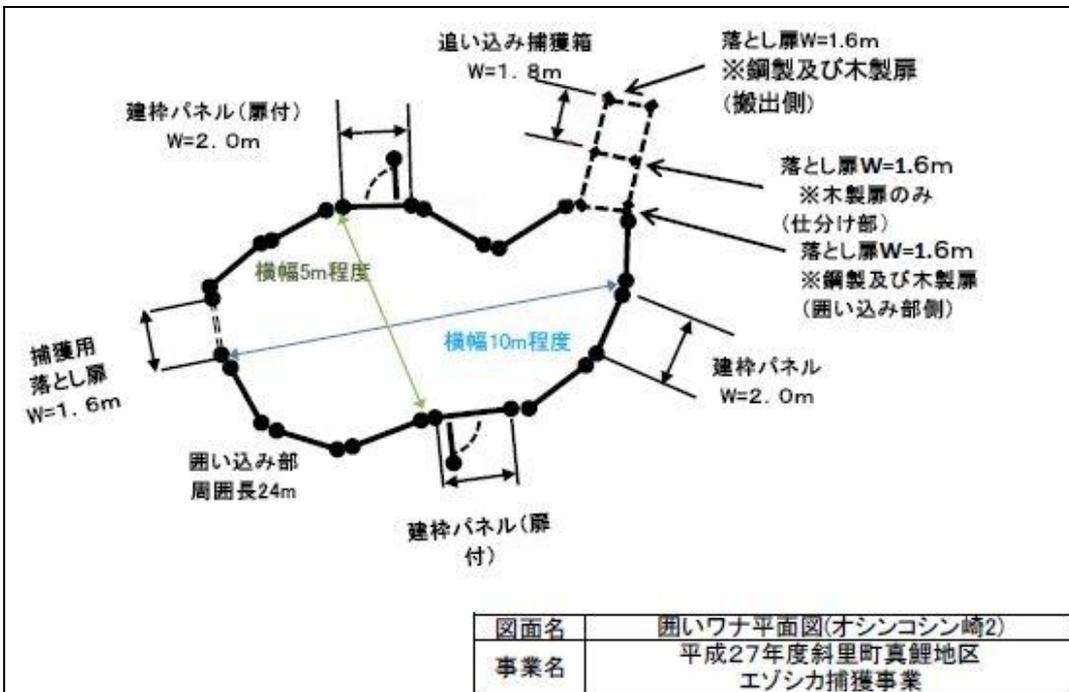


図 3. 本事業で設置したオシンコシン崎 2 囲いワナの平面図.

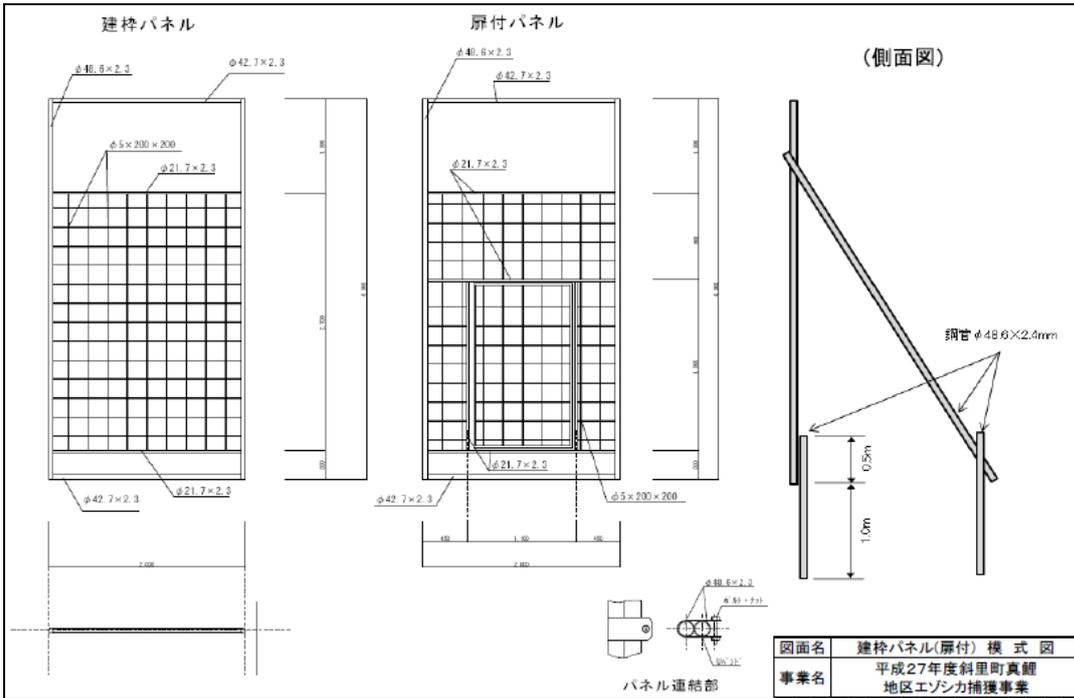


図 4. オシンコシン崎 2 囲いワナに使用した建枠パネル及び扉付きパネルの図。

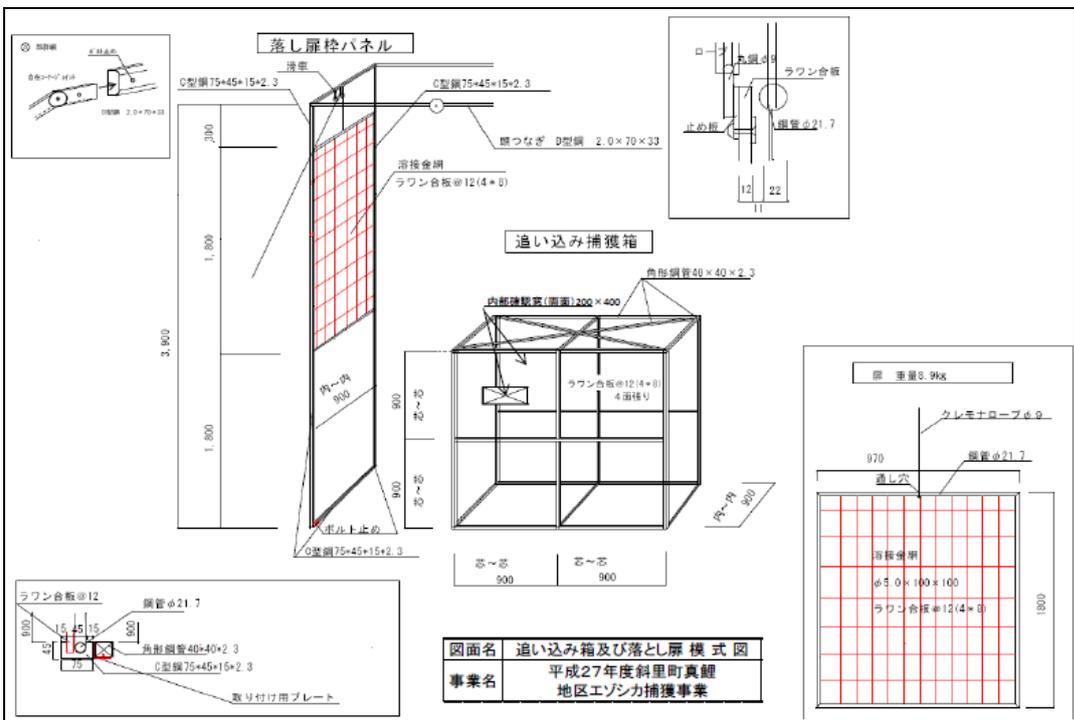


図 5. オシンコシン崎 2 囲いワナに使用した落とし扉枠パネル及び追い込み捕獲箱の図。

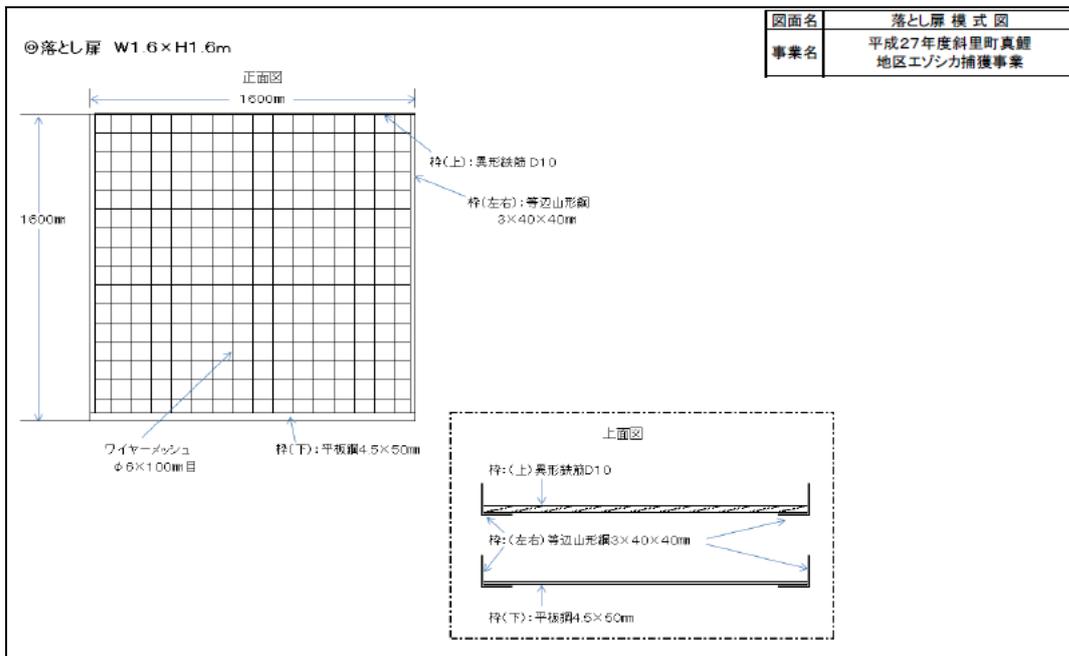


図 6. オシンコシン崎 1 及び 2 囲いワナに使用した捕獲用落とし扉の詳細図.

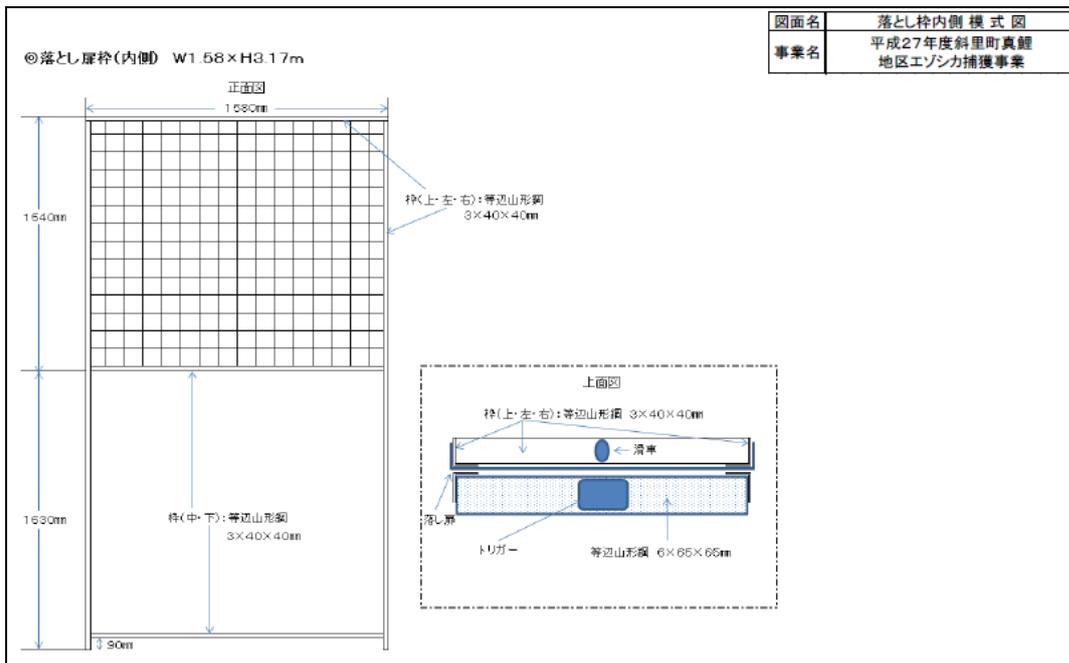


図 7. オシンコシン崎 1 及び 2 囲いワナに使用した捕獲用落とし扉枠(内側)の詳細図.

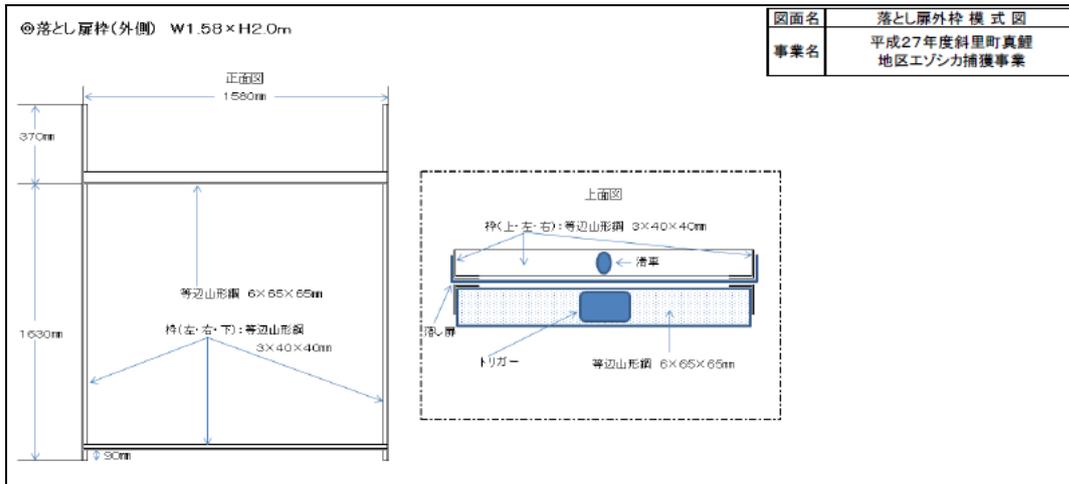


図 8. オシンコシシ 1 及び 2 囲いワナに使用した捕獲用落とし扉枠 (外側) の詳細図.



写真 3. オシンコシシ 2 囲いワナ捕獲用落とし扉の正面観 (開放状態).



写真 4. オシンコシン崎 2 囲いワナ追い込み捕獲箱の正面観.
落とし扉のメッシュが 10 cm と細かく、追い込む際にエゾシカの頭部が網目に入ることはなかった。



写真 5. オシンコシン崎 2 囲いワナ内部壁面. 隙間がなくエゾシカが暴れにくい。



写真 6. 落とし扉枠の溶接部分 3 対計 6 か所 (□部分) と滑車部分 (上部の○部分).



写真 7. 落とし扉枠の溶接部分 3 対の片側 (左から上・中・下).



写真 8. 電子トリガー設置状況（下側より撮影）.

表 2. オシンコシン崎 1 囲いワナの改築に使用した部材一覧表

番号	名 称	規格・寸法	単位	使用数量
1	落とし扉枠(内側)	W1.58*H3.17	枚	1.00
2	落とし扉枠(外側)	W1.58*H2.00	枚	1.00
3	落とし扉	W1.60*H1.60	枚	1.00
4	自動捕獲装置	Web AIゲートかぞえもんAir	式	1.00
5	バッテリー	12V - 38Ah	式	1.00
6	ソーラーパネル	12V - 50W	式	1.00
7	ディーゼル発電機	10.5kVA - 200V	式	1.00
8	燃料タンク	オイルガード490 - II	式	1.00
9	IVケーブル	26mm - 200m	式	1.00

表 3. オシンコシン崎 2 囲いワナの作設に使用した部材一覧表

番号	名 称	規格・寸法	単位	使用数量
1	型枠パネル	W2.00*H4.00*φ 42.7	枚	10.00
2	型枠パネル(ドア付)	W2.00*H4.00*φ 42.7	枚	2.00
3	捕獲箱	W0.90*L1.80*H1.80	基	2.00
4	捕獲箱用落とし扉	W0.97*H3.90	枚	3.00
5	鋼製落とし扉	W0.97*H1.80	枚	2.00
6	木製落とし扉	W0.97*H1.80	枚	3.00
7	落とし扉枠(内側)	W1.58*H3.17	枚	1.00
8	落とし扉枠(外側)	W1.58*H2.00	枚	1.00
9	落とし扉	W1.60*H1.60	枚	1.00
10	自動捕獲装置	Web AIゲートかぞえもんAir	式	1.00
11	単管パイプ	φ 48.6*L4.00	本	48.00
12	単管パイプ	φ 48.6*L1.50	本	72.00
13	自在クランプ	φ 48.6用	個	180.00
14	型枠用合板	W0.90*H1.80*T0.012	枚	62.00
15	サンギ	L=3.65	本	43.00
16	ディーゼル発電機	10.5kVA - 200V	式	1.00
17	燃料タンク	オイルガード490 - II	式	1.00
18	IVケーブル	20mm - 100m	式	1.00

箱ワナ

本事業では昨年度から現場に設置してある箱ワナ（写真9）を一部の部品を修繕してから使用した。箱ワナは木製の落とし扉以外は金網のメッシュ（φ5mm・編目100mm角）で構成され、通常はエゾシカが1頭入るサイズである（W0.9×L1.8×H1.5）。ワナ内に張った釣り糸にエゾシカの足や頭が引っかかるとトリガーが外れて木製の落とし扉が落下する仕組みである。



写真9. 本事業で使用した箱ワナの外観.

3-2. 誘引および捕獲の方法

誘引方法

本事業でエゾシカを誘引するための餌には、畜産用の乾草ブロック（ルーサンハイベール：マメ科牧草のアルファルファ乾草を約25kg単位でブロックにした単味飼料）を用いた。

オシンコシン崎 1 及び 2 囲いワナでは、乾草ブロックをほぐしてワナ周辺のエゾシカの足跡が多く確認できる場所に散布し、さらにそこから囲いワナ入り口に誘導するように少量ずつ撒く方法で誘引した。具体的にはワナから 200m 以上離れた場所から、点々とワナ入口まで餌を少量ずつ撒くことで誘引する作業を実施した（図 9, 10）。一度離れた場所からエゾシカを誘引した後は、ワナ周辺に餌があることをエゾシカが覚えたため、以降はワナ周辺に餌を補充するだけで十分に誘引することができた。しかし新たな降雪により、ワナまで来ていたエゾシカの足跡がなくなってしまう際には、エゾシカの足跡がある場所からワナまで人間が踏み跡を付けて再度エゾシカを誘引した。

囲いワナでは捕獲を重ねるにつれ、ワナ外の落とし扉前までは誘引されていてもワナ内への進入を忌避する個体が多くなった場合、ワナから離れた場所まで餌撒き誘引を実施し、再び餌とワナへの馴化の促進を試みた。その後継続的にワナ前での餌まき誘引を続けた結果、徐々にワナへ進入する個体が現れた。そのほか、ワナの外への餌撒き量を増やし、再び餌とワナへの馴化を促進させた後、意図的にワナ外の餌量を減らしてワナ内へのエゾシカの進入の促進を試みた。

金山川箱ワナでは、川の対岸や斜面の上から視認できる場所もしくはエゾシカの痕跡がある場所からワナにかけて広範囲に乾草ブロックを撒く方法を採用した。具体的にはワナ付近の林道上や川岸の開けた場所に広範囲に餌を散布することで誘引を実施した。

本事業の実施期間中にエゾシカの誘引のために使用した乾草ブロックの総量は、オシンコシン崎 1 囲いワナでは 23 個、オシンコシン崎 2 囲いワナでは 19 個、金山川箱ワナでは 13 個の計 55 個であった。

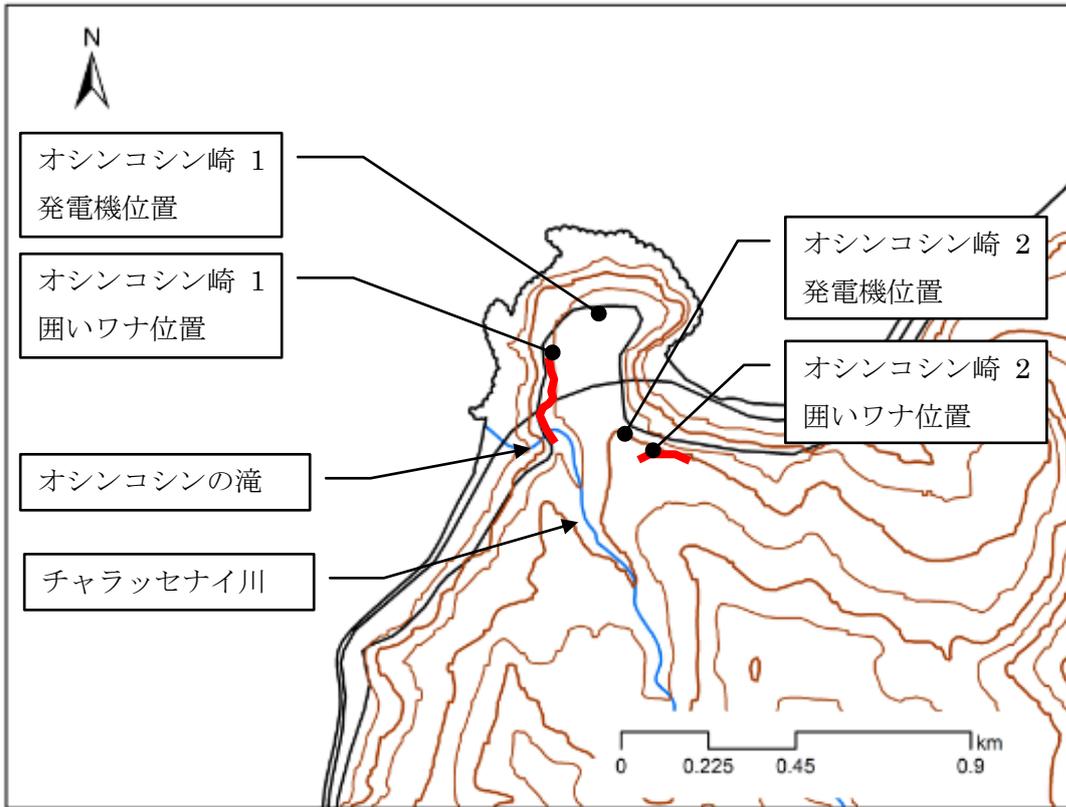


図 9. オシンコシン崎 1 及び 2 囲いワナの餌まき誘引実施地点 (赤実線).

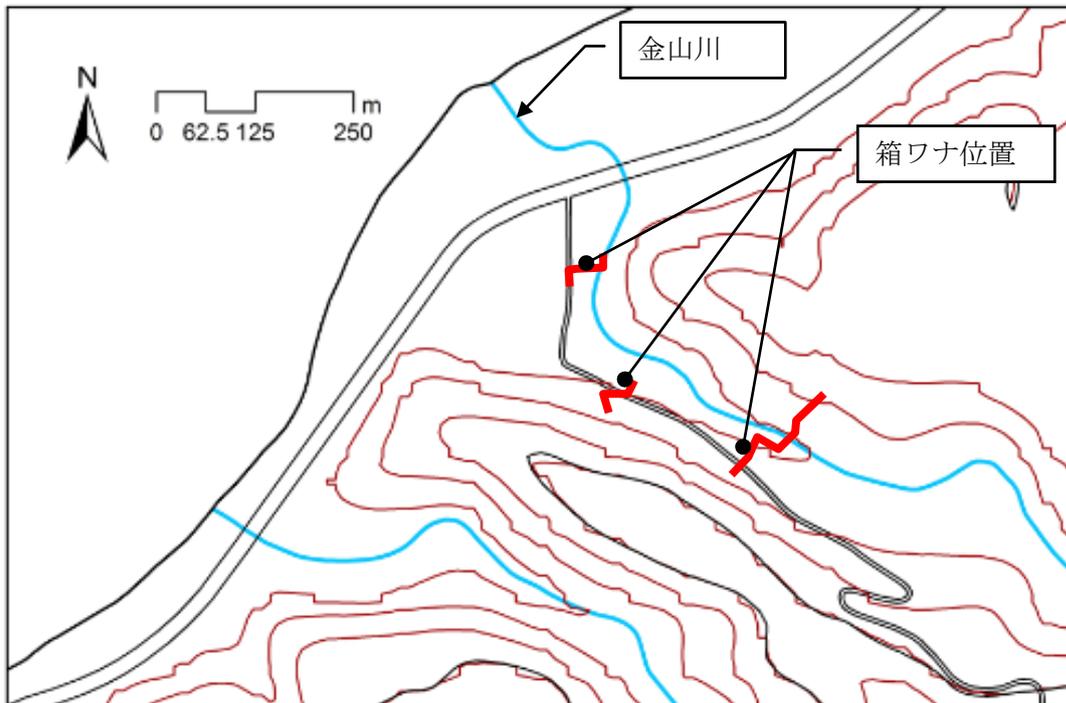


図 10. 金山川箱ワナの餌まき誘引実施地点 (赤実線).

捕獲方法

囲いワナのエゾシカの捕獲に使用した自動捕獲装置（Web AI ゲートかぞえもん Air）を写真 10 に示した。この自動捕獲装置は、ワナ入り口に設置されたセンサーでワナ内に進入したシカの頭数をカウントし、事前に設定した頭数（表 4）以上のシカが入ると捕獲用落とし扉を自動で落下させる装置である。

昨年度にオシンコシン崎 1 囲いワナで使用した捕獲装置（平成 25 年度網走南部署斜里地区鳥獣被害対策エゾシカ捕獲事業第 2 号報告書を参照のこと）は、エゾシカを捕獲する場合に作業員が囲いワナの現場付近に待機し、監視カメラの映像を有線のモニターで確認しながら落とし扉を落下させる必要があった。

本事業で使用した自動捕獲装置は、監視が自動のため監視時間の大幅な増加が可能となり、さらにエゾシカの捕獲やワナの出入りに関する履歴がウェブ上で閲覧できる。

オシンコシン崎 1 囲いワナは運用 2 年目である本事業から自動捕獲装置を使用することとなったが、オシンコシン崎 2 囲いワナは本事業で新設したため、当初から自動捕獲装置を使用して捕獲することとなった。

自動捕獲装置は、ワナから離れた場所に設置した発電機（写真 11, 12）から電源を供給し稼働させた。オシンコシン崎 1 囲いワナについては発電機を使用しない運用の試験として 3 月 10 日からソーラーパネルとバッテリー（写真 13, 14）を用いて電源を供給した。なお、本事業における自動捕獲装置による監視は基本的に 24 時間としたが、オシンコシン崎 1 囲いワナのみ 3 月 16 日以降はバッテリーの電圧低下の関係で監視は 14 時～1 時までの 11 時間とした。

金山川で用いた箱ワナはいずれも、ワナに誘引されたエゾシカがワナ内に張った糸に足や頭を引っかけることで、箱ワナの木製落とし扉が落下する仕組みとした。

なお、各ワナ周辺のエゾシカの出現状況を把握するため、ワナごとに静止画撮影用の自動撮影カメラ（機種名：TROPHY CAM 119537C, Bushnell, USA）を、それぞれワナ内部及び外部に設置した。

捕獲したエゾシカは、追い込み捕獲箱へ追い込んだ後に仕様書に定められた一時養鹿業者（株式会社 知床エゾシカファーム）へ引き渡し搬出した。

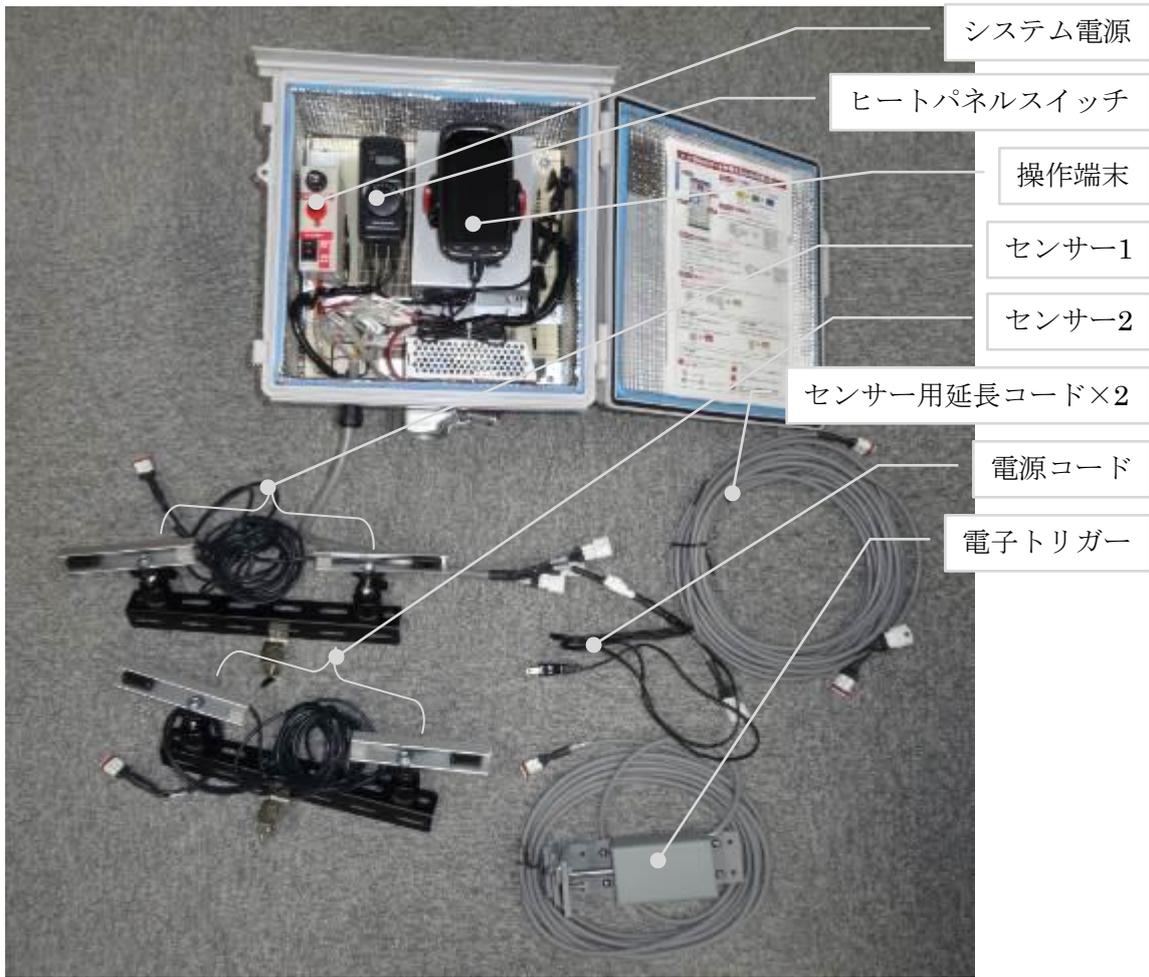


写真 10. 自動捕獲装置 (WebAI ゲートかぞえもん Air) 一式. (販売元: 株式会社 一成)



写真 11. オシンコシン崎 1 囲いワナの発電機 (左の防雪用小屋の中) と燃料タンク (右).



写真 12. オシンコシン崎 2 囲いワナの発電機 (右の防雪用小屋の中) と燃料タンク (左).

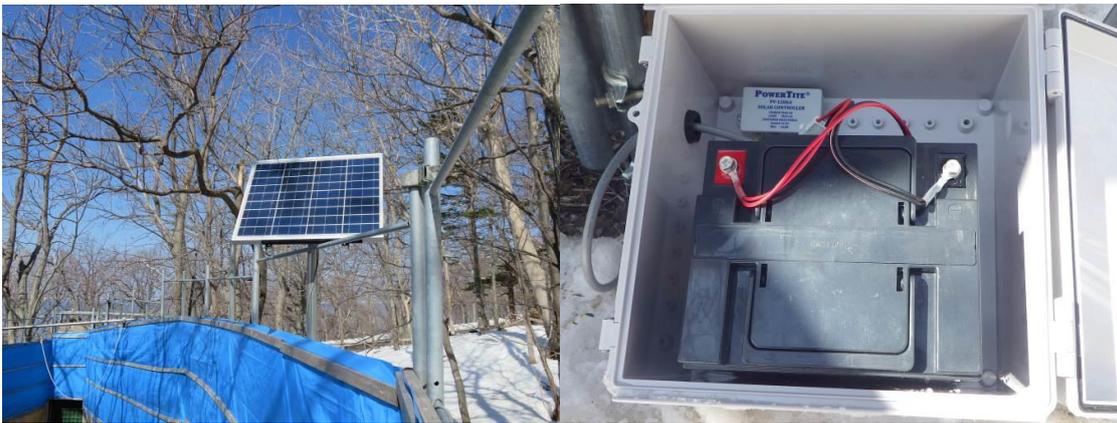


写真 13, 14. 3月10日以降、オシンコシン崎 1 囲いワナに設置したソーラーパネル (左) とバッテリー (右).

表 4-1. オシンコシン崎 1 囲いワナにおける自動捕獲装置の設定状況

期間		捕獲見込頭数	
自	至	最小	最大
1月28日	2月05日	25	30
2月05日	3月05日	10	11
3月05日	3月10日	5	6
3月10日	3月21日	4	5
3月21日	3月23日	2	3

表 4-2. オシンコシン崎 2 囲いワナにおける自動捕獲装置の設定状況

期間		捕獲見込頭数	
自	至	最小	最大
2月05日	2月10日	25	30
2月10日	2月13日	10	11
2月13日	2月19日	25	30
2月19日	3月05日	10	11
3月05日	3月10日	5	6
3月10日	3月21日	4	5
3月21日	3月23日	2	3

※最小 25 頭、最大 30 頭の設定は、エゾシカをワナに慣れさせるため故意に多めに設定している。

4. 事業実施結果

4-1. オシンコシン崎 1 囲いワナ

オシンコシン崎 1 囲いワナでは本事業期間中に 5 回の捕獲を行い、計 30 頭（うちメス成獣 17 頭）を捕獲した（表 5）。落とし扉の閉鎖 1 回あたりの捕獲頭数は 1～9 頭、平均 6.0 頭であった。捕獲の成功間隔は 3～15 日（平均 11.0 日）であった。捕獲総数 30 頭をワナ稼働日数 48 日で除した捕獲効率は 0.63 頭／日であった。

エゾシカの生息状況の把握は、国道から見えるエゾシカを定期的にカウントする広範囲生息調査（オシンコシン崎 2 囲いワナと合わせて実施）及びワナ周辺に設置した自動撮影カメラにより実施した。

自動撮影カメラでエゾシカがワナ周辺にどれだけ誘引されているかを数日おきに確認し、自動捕獲装置の捕獲見込頭数の設定は、自動撮影カメラのデータ（雌雄構成、警戒心等）を考慮し監督職員と協議の上設定した。自動捕獲装置の設定頭数と実際の捕獲数には誤差が発生することがあった。これはエゾシカがワナを出入りする際のセンサーの誤カウントが原因と考えられた。

事業の実施において発生したオシンコシン崎 1 囲いワナにおける作業内容を表 6 に示した。作業内容は主に、生息状況調査、誘引・除雪、捕獲、搬出、広域調査やメンテナンスに分類した。なお、自動捕獲装置の設置や撤去にかかわる作業や、事業の監督職員との打ち合わせや立会はその他に分類した。

自動撮影カメラで確認された月別のエゾシカの最多頭数（写真 1 枚に映った最大頭数）は、1月に 10 頭、2月に 12 頭、3月に 10 頭であった。また、エゾシカがワナに多く集まる時間帯の指標として、10 頭以上の群れが自動撮影カメラに写り込んだ時間帯を調べたところ、16 時台が最も多く、次いで 17 時台が多かった。オシンコシン崎付近計 2km の範囲で国道から見えるエゾシカをカウントした頭数は、1月 8 日 0 頭、1月 15 日 1 頭、2月 5 日 0 頭、2月 12 日に 43 頭、3月 13 日に 27 頭であった。

除雪に関しては、扉の可動範囲や暗箱周辺などの細部の除雪作業は積雪があるたびに毎回人力で実施した。しかし、大量降雪が発生した場合にワナまでの道路が 1～2 日間、通行不能になることがあったため、その際はワナ周辺の除雪が 1～2 日遅れた。このよう大量降雪があった場合は人力での除雪が困難なため、囲いワナ周辺のみ家庭用除雪機を用いて除雪作業を実施した。

表 5. オシンコシン崎 1 囲いワナにおけるエゾシカの捕獲結果

落とし扉 落下日	時刻	捕獲個体内訳						計	搬出日	設定頭数
		メス成獣	0歳	オス						
				4尖	3尖	2尖	1尖			
2月05日	14:33	5	2	2	-	-	-	9	2月05日	10-11頭
2月08日	17:23	2	2	2	-	-	1	7	2月09日	10-11頭
2月21日	23:44	7	-	-	-	-	-	7	2月22日	10-11頭
3月05日	17:26	2	2	1	-	-	1	6	3月06日	5-6頭
3月20日	20:35	1	-	-	-	-	-	1	3月21日	4-5頭
計		17	6	5	0	0	2	30		

表 6. オシンコシン崎 1 囲いワナにおける各作業回数と作業人数

日付	生息状況調査	誘引除雪	捕獲	搬出	広範囲生息調査及びワナや自動捕獲装置のメンテナンス	その他	作業人数	
12月	23日				●		2	
1月	7日	●	●				2	
	8日				●		2	
	10日		●				2	
	13日	●	●				1	
	①15日		●				2	
	②15日					●	2	
	18日	●	●				●	4
	21日					●		2
	22日		●				●	3
	24日		●					4
	26日		●				●	1
	28日	●	●				●	4
	29日	●	●			●		2
	31日	●	●					3
2月	1日	●			●		2	
	3日	●	●				3	
	①5日	●	●			●	3	
	②5日			●	●		4	
	③5日					●	2	
	6日		●				2	
	7日		●				2	
	8日		●			●	2	
	①9日			●		●	4	
	②9日				●		2	
	10日	●	●				2	
	11日		●				3	
	①12日		●				2	
	②12日					●	2	
	13日	●	●				5	
	16日		●				2	
	18日	●	●				3	
	19日					●	3	
	20日		●				3	
	21日	●	●				3	
	①22日		●	●		●	3	
	②22日				●		2	
	23日					●	2	
25日	●	●			●	3		
27日	●	●				3		
3月	3日	●	●				4	
	5日	●	●			●	2	
	6日	●	●	●	●	●	4	
	10日	●	●			●	2	
	11日					●	6	
	12日	●	●				3	
	13日					●	2	
	15日	●	●				3	
	16日	●	●			●	4	
	18日	●	●				1	
	20日		●				2	
	21日	●	●	●	●	●	2	
	23日						●	4
計	53	24	37	5	5	21	7	延べ142人

※囲いワナ内のエゾシカを追い込み捕獲箱に仕分けた時点を「捕獲」と定義し、捕獲したエゾシカを一時養鹿業者が用意した輸送用暗箱に移すことを「搬出」とする

4-2. オシンコシン崎 2 囲いワナ

オシンコシン崎 2 囲いワナでは本事業期間中に 11 回捕獲を行い、計 35 頭（うちメス成獣 11 頭）を捕獲した（表 6）。落とし扉の閉鎖 1 回あたりの捕獲頭数は 1～5 頭、平均 3.2 頭であった。捕獲の成功間隔は 1～7 日（平均 3.6 日）であった。捕獲総数 35 頭をワナ稼働日数 43 日で除した捕獲効率は 0.81 頭／日であった。

エゾシカの生息状況の把握は、4.4-1 で記した方法と同様に実施し、自動捕獲装置の設定も前述と同様に行った。実際に捕獲されるエゾシカの頭数はオシンコシン崎 1 囲いワナと同様に設定頭数よりも少なくなる傾向にあり（表 7）、原因も同様と考えられた。

事業の実施において発生したオシンコシン崎 2 囲いワナにおける作業内容を表 8 に示した。表の見方は表 6 と同様である。

自動撮影カメラで確認された月別のエゾシカの最多頭数（写真 1 枚に映った最大頭数）は、1 月に 13 頭、2 月に 12 頭、3 月に 15 頭であった。10 頭以上の群れが自動撮影カメラに写り込んだ時間帯は、15 時台と 16 時台が同等に最も多く、次いで 14 時台と 17 時台が同等に多かった。国道からのカウント調査はオシンコシン崎 1 囲いワナの部分で記した結果と同様である。

短期間の大量降雪への対応は、ワナの稼働期間中には発生しなかったが、扉の可動範囲や暗箱周辺などの細部の除雪作業は、積雪があるたびに毎回人力で実施した。

表 7. オシンコシン崎 2 囲いワナにおけるエゾシカの捕獲結果

落とし扉 落下日	時刻	捕獲個体内訳						計	搬出日	設定頭数
		メス成獣	0歳	オス						
				4尖	3尖	2尖	1尖			
2月10日	18:41	3	2	-	-	-	-	5	2月11日	10-11頭
2月11日	17:35	2	1	1	-	-	1	5	2月12日	10-11頭
2月13日	05:20	1	2	-	-	-	-	3	2月13日	10-11頭
2月20日	02:04	-	1	1	-	-	2	4	2月20日	10-11頭
2月22日	18:17	1	2	-	-	-	-	3	2月23日	10-11頭
2月28日	03:28	2	1	-	-	-	-	3	2月29日	10-11頭
3月05日	17:43	-	-	2	-	-	1	3	3月06日	5-6頭
3月06日	20:48	-	-	1	-	-	-	1	3月08日	5-6頭
3月11日	03:50	1	1	-	-	-	1	3	3月11日	4-5頭
3月12日	01:52	1	1	-	1	-	-	3	3月12日	4-5頭
3月17日	14:22	-	2	-	-	-	-	2	3月18日	4-5頭
計		11	13	5	1	0	5	35		

表 8. オシンコシン崎 2 囲いワナにおける各作業回数と作業人数

日付	生息状況調査	誘引除雪	捕獲	搬出	広範囲生息調査及びワナや自動捕獲装置のメンテナンス	その他	作業人数	
1月	8日				●		2	
	10日	●					2	
	13日		●				1	
	①15日	●	●				2	
	②15日					●	2	
	18日	●	●				3	
	22日		●				3	
	24日		●				4	
	26日		●				1	
	28日	●	●				4	
	29日	●					2	
	31日	●	●				3	
2月	3日	●	●				3	
	4日		●			●	3	
	①5日	●	●			●	4	
	②5日					●	2	
	6日		●			●	3	
	7日	●	●			●	2	
	8日		●				2	
	9日					●	2	
	10日	●	●			●	2	
	①11日		●	●			3	
	②11日				●	●	3	
	①12日			●			3	
	②12日				●	●	2	
	③12日					●	2	
	①13日	●	●	●		●	5	
	②13日				●		2	
	14日	●				●	4	
	16日		●				2	
	18日	●	●				3	
	19日		●			●	3	
	20日	●	●	●	●	●	5	
	21日	●	●				3	
	22日	●	●				3	
	①23日		●	●		●	3	
②23日				●		2		
25日	●	●				3		
27日	●	●				3		
28日		●	●		●	4		
29日				●		2		
3月	3日	●	●				4	
	5日	●	●			●	2	
	6日		●	●	●	●	4	
	7日	●	●	●		●	2	
	8日				●		2	
	10日	●	●			●	2	
	11日			●	●	●	6	
	12日	●	●	●	●	●	3	
	13日					●	2	
	15日	●	●				3	
	16日		●			●	3	
	17日			●		●	2	
	18日	●	●		●		3	
	20日		●				2	
21日	●	●				2		
23日					●	4		
計	57	26	38	11	11	24	4	延べ158人

4-3. 金山川箱ワナ

金山川箱ワナでは本事業期間中に7回の捕獲があり、計11頭（うちメス成獣4頭）を捕獲した（表9）。捕獲の成功間隔は1～9日（平均2.8日）であった。捕獲総数11頭をワナ稼働日数21日で除した捕獲効率は0.52頭/日であった。

事業の実施において発生した金山川箱ワナにおける作業内容を表10に示した。箱ワナの落とし扉を落下させる機構の設置作業や監督職員との立会はその他に分類した。

自動撮影カメラでは、エゾシカがワナ周辺に出没する状況を数日置きに確認した。自動撮影カメラで確認された月別のエゾシカの最多頭数（写真1枚に映った最大頭数）は、2月に7頭、3月に14頭であった。10頭以上の群れが自動撮影カメラに写り込んだ時間帯は3度しかなく、1時台、17時台、23時台であった。金山川付近計2kmの範囲で国道から見えるエゾシカをカウントした頭数は、2月5日に0頭、2月12日に5頭、3月13日に18頭であった。

なお、除雪に関しては、ワナ周辺の細部の除雪作業は、毎回人力で実施した。

表9. 金山箱ワナにおけるエゾシカの捕獲結果

捕獲確認日	捕獲個体内訳						計	搬出日	備考
	メス成獣	0歳	オス						
			4尖	3尖	2尖	1尖			
3月04日	1	-	-	-	-	-	1	3月4日	
3月05日	1	-	-	-	-	-	1	3月5日	
3月14日	-	1	-	-	-	-	1	3月14日	
3月17日	-	1	-	-	-	-	1	3月17日	
3月18日	-	1	-	1	-	-	2	3月18日	
3月19日	1	1	-	-	-	1	3	3月19日	
3月21日	1	1	-	-	-	-	2	3月21日	
計	4	5	0	1	0	1	11		

※箱ワナ内のエゾシカを確認した時点を「捕獲」とし、捕獲したエゾシカを一時養鹿業者が用意した輸送用暗箱に移すことを「搬出」とする。

表 10. 金山川箱ワナにおける各作業回数と作業人数

日付	生息状況調査	誘引除雪	捕獲	搬出	広範囲生息調査及びワナや捕獲装置のメンテナンス	その他	作業人数	
2月	1日					●	2	
	3日		●				3	
	5日				●		2	
	8日		●				3	
	12日				●		2	
	14日		●		●		4	
	17日		●				2	
	23日	●	●				3	
	26日	●	●				4	
	28日	●	●				4	
29日		●			●		3	
3月	3日	●				●	2	
	4日			●	●	●	2	
	5日	●	●	●	●		2	
	6日				●		4	
	7日				●		1	
	8日				●		1	
	9日				●		1	
	10日		●		●		1	
	11日		●		●		1	
	①13日	●	●		●		3	
	②13日				●		2	
	14日	●	●	●	●		3	
	15日				●		1	
	①16日				●		1	
	②16日	●	●		●		2	
	①17日			●		●	1	
	②17日		●		●		2	
	①18日			●		●	1	
	②18日		●		●	●	3	
19日	●	●	●	●	●	2		
20日					●	2		
21日	●	●	●	●	●	2		
22日					●	1		
23日					●	●	4	
計	35	10	18	7	7	27	3	延べ77人

5. 考察（効率的な捕獲方法等に関して）

本事業ではオシンコシン崎 1 及び 2 の囲いワナ 2 カ所で 65 頭、金山川の箱ワナで 11 頭の計 76 頭のエゾシカの捕獲・搬出に成功した（表 11）。本事業でオシンコシン崎付近でのエゾシカの捕獲は 2 年目となり、昨年度のオシンコシン崎 1 囲いワナでの捕獲も合わせると 106 頭捕獲したことになる（表 12, 13）。表中のエゾシカカウント数とは、当財団が冬季に真鯉地区の国道沿いで月 2 回程度行っているモニタリング調査の結果である。この数値は 2014 年以降の 1 月～3 月のカウント調査で最もエゾシカが多く確認できた日のオシンコシン崎付近の計 2km の範囲のエゾシカのカウント数である。捕獲前と捕獲後でエゾシカのカウント数は減少しているように見えるが、生息数が減ったためなのか捕獲による攪乱が原因なのかは、今後モニタリングを続けてみないと結論付けられないと思われる。

効率的な捕獲方法等に関しては、本事業における捕獲に自動捕獲装置を使用したことで、昼夜を問わず囲いワナの監視を行えるため、捕獲機会を逃しにくかったことがメリットとして挙げられる。また、捕獲の有無を確認するための点検や捕獲を行うために長時間にわたってワナの近くで待機することがないため、ワナ周辺のエゾシカの行動を攪乱する恐れが減ったこともメリットとして挙げられる。

短所として挙げられるのは、自動捕獲装置を使用するためには安定した電源を供給しなければならないことである。本事業では発電機を使用したため安定した電源を供給できたが、オシンコシン崎 1 囲いワナのみ 3 月 10 日からバッテリーとソーラーパネルに試験的に電源を切り替えた。バッテリーへの切り替え後、夜間に気温が下がるまたはソーラー充電がされなくなると電圧が低下し、自動捕獲装置による監視はできても捕獲時に電子トリガーが作動すると瞬間的に電力不足となり、扉が落下しない事例があった。バッテリーを電源として自動捕獲装置を使用する場合、高い電圧を維持できるだけの容量の確保が必要である。電力不足の原因が気温の低下によるバッテリーの電圧低下ならば、バッテリーを温める仕組みなどが必要であろう。

金山川箱ワナでは、2 月 3 日に誘引を開始してからすぐにはエゾシカがワナ周辺に誘引されることはなかった。ワナ周辺にエゾシカが徐々に集まるようになったのは 2 月下旬頃からであり、一般狩猟がおこなわれている地域でエゾシカを誘引するには十分な誘引期間が必要であると思われる。また、箱ワナはエゾシカがワナ内に進入しても構造上閉塞感を感じにくいためか、エゾシカはワナ自体を警戒する様子はなく、捕獲された後も他個体がワナの傍らの餌を食べにくる様子が自動撮影カメラで何度も確認された（写真 15）。このように捕獲された後でもワナ周辺に誘引することができるため、箱ワナを 1 カ所に複数設置して捕獲することも可能と考えられた。

表 11. 本事業におけるエゾシカ捕獲数一覧

捕獲したワナ	捕獲個体内訳						計
	メス成獣	0歳	オス				
			4尖	3尖	2尖	1尖	
オシコシン崎1囲いワナ	17	6	5	0	0	2	30
オシコシン崎2囲いワナ	11	13	5	1	0	5	35
金山川箱ワナ	4	5	0	1	0	1	11
計	32	24	10	2	0	8	76

表 12-1. 年度別捕獲数及び周囲約 2km 内の国道沿いのエゾシカカウント数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計
オシコシン崎1捕獲数	-	41	30	71
オシコシン崎2捕獲数	-	-	35	35
合計	0	41	65	106
エゾシカカウント数(調査日)	111(3/12)	39(3/15)	43(2/12)	

表 12-2. 年度別捕獲数及び周囲約 2km 内の国道沿いのエゾシカカウント数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計
金山川箱ワナ捕獲数	-	2	11	13
エゾシカカウント数(調査日)	57(3/12)	59(3/15)	16(2/12)	

表 13. 各ワナでの年度別捕獲状況

	年度	捕獲頭数	ワナ稼働日数 (実施日)	捕獲頭数 /日	備考
オシコシン崎1	平成26	41	57 (1/21~3/18)	0.72	人の監視による捕獲
	平成27	30	48 (2/5~3/23)	0.63	自動捕獲装置の監視による捕獲
オシコシン崎2	平成27	35	43 (2/10~3/23)	0.81	自動捕獲装置の監視による捕獲
金山川箱ワナ	平成26	2	12 (3/7~3/18)	0.17	箱ワナ3基による捕獲
	平成27	11	21 (3/3~3/23)	0.52	箱ワナ3基による捕獲



写真 15. 捕獲後も警戒されず誘引されている様子

6. 付録：現場作業の実施状況・記録写真

6-1. オシンコシン崎1囲いワナ

平成 27 (2015) 年 12月 23 日 (水) 10:30-11:00 計 2 名	・生息状況の確認
---	----------

平成 28 (2016) 年 1月 7 日 (木) 13:50-14:50 計 2 名	 <ul style="list-style-type: none">・ワナ外に餌を設置・ワナ外に自動撮影カメラ 2 台を設置
---	---

平成 28 (2016) 年 1月 8 日 (金) 14:15-14:25 計 2 名	・国道からの生息状況の確認
---	---------------

平成 28 (2016)
年

1月 10日 (日)

9:40-12:00

計 2名



・ワナ外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

1月 13日 (水)

11:10-11:35

計 1名



・ワナ外に餌を補充
・ワナ外の自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

1 月 15 日 (金)

10:15-10:50
計 2 名

14:50-15:00
計 2 名



- ・ワナ外に餌を補充
- ・国道からの生息状況の確認

平成 28 (2016)
年

1 月 18 日 (月)

10:00-10:40

計 4 名



- ・かぞえもん用ゲート納品の立会
- ・ワナ外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

1 月 21 日 (木)

14:20-15:00

計 2 名



- ・生息状況の確認

平成 28 (2016)
年

1月 22 日 (金)

8:45-11:00

計 3 名



- ・自動捕獲装置用ゲート (外枠) 設置の立会
- ・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

1月 24 日 (日)

13:10-14:30

計 4 名



- ・ワナ内の除雪を実施
- ・ワナ内外に餌を補充

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>1月 26 日 (火)</p> <p>9:30-10:30</p> <p>計 1 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・落とし扉溶接作業の立会 ・ワナ外に餌を補充
---	--

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>1月 28 日 (木)</p> <p>9:45-12:00</p> <p>計 4 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・自動捕獲装置本体とセンサー等周辺機器の設置 ・ワナ内外に餌を補充 ・自動撮影カメラの SD カード交換
---	--

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>1月 29 日 (金)</p> <p>14:05-15:20</p> <p>計 2 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内外に餌を補充 ・ワナ内に自動撮影カメラ 1 台を設置 ・センサーガードの追加設置
--	---

平成 28 (2016)
年

1 月 31 日 (日)

11:05-11:25

計 3 名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

2 月 1 日 (月)

11:55-12:30

計 2 名



- ・センサーの調整作業
- ・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

2月3日(水)

11:20-11:50

計3名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラのSDカード交換

平成 28 (2016)
年

2月5日(金)

10:50-11:00
計3名

15:35-17:30
計4名

15:20-15:30
計2名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラのSDカード交換
- ・メス成獣5頭、0歳2頭、オス成獣2頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業
- ・自動捕獲装置を設定
- ・国道からの生息状況の確認

平成 28 (2016)
年

2月6日(土)

12:35-14:30

計2名



・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

2月7日(日)

9:15-9:50

計2名



・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

2月8日(月)

11:00-11:30

計2名



・ワナ内外に餌を補充
・センサーの調整作業

平成 28 (2016)
年

2月9日(火)

9:15-10:15
計2名

13:30-14:45
計2名



- ・メス成獣2頭、0歳2頭、オス成獣3頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業
- ・自動捕獲装置の再設定

平成 28 (2016)
年

2月10日(水)

9:40-10:15

計2名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラのSDカード交換

平成 28 (2016)
年

2月 11 日 (木)

9:55-10:15

計 3 名



・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

2月 12 日 (日)

15:00-15:20

計 2 名

15:30-15:40

計 2 名



・ワナ内外に餌を補充
・国道からの生息状況の確認

平成 28 (2016)
年

2月 13 日 (土)

9:40-9:50

計 5 名



・ワナ内外に餌を補充
・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

2月 16 日 (火)

14:00-14:35

計 2 名



・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

2月 18 日 (木)

15:20-16:00

計 3 名



・ワナ内外に餌を補充
・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

2月 19 日 (金)

9:40-9:50

計 3 名



・センサーの調整作業

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>2 月 20 日 (土)</p> <p>9:50-10:00</p> <p>計 3 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内に餌を補充
--	--

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>2 月 21 日 (日)</p> <p>15:15-16:15</p> <p>計 3 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内外に餌を補充 ・自動撮影カメラの SD カード交換
---	--

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>2 月 22 日 (月)</p> <p>10:00-10:30 計 3 名</p> <p>13:25-14:10 計 2 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・メス成獣 7 頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業 ・自動捕獲装置の再設定 ・ワナ内外に餌を補充
---	---

平成 28 (2016)
年

2月 23 日 (火)

13:30-13:40

計 2 名



・自動捕獲装置の点検

平成 28 (2016)
年

2月 25 日 (木)

10:40-12:05

計 3 名



・ワナ内外に餌を補充
・自動撮影カメラの SD カード交換
・自動捕獲装置の点検

平成 28 (2016)
年

2月 27日 (土)

13:10-13:55

計 3名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

3月 3日 (木)

14:15-14:35

計 3名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

3月5日(土)

11:00-11:30

計 2 名



- ワナ内外に餌を補充
- 自動撮影カメラの SD カード交換
- 自動捕獲装置の設定

平成 28 (2016)
年

3月6日(日)

9:50-10:25

計 4 名



- メス成獣 2 頭、0 歳 2 頭、オス成獣 2 頭の追い込み・搬出運搬作業
- 自動捕獲装置の再設定
- ワナ内外に餌を補充
- 自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

3月10日(木)

9:55-11:50

計2名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラのSDカード交換
- ・自動捕獲装置の電源供給をソーラーパネルに変更および設置
- ・センサーの調整作業

平成 28 (2016)
年

3月11日(金)

10:00-10:30

計3名



- ・ソーラーパネル設置後の立会

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 12 日 (土)</p> <p>10:40-11:20</p> <p>計 3 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内外に餌を補充 ・自動撮影カメラの SD カード交換
---	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 13 日 (日)</p> <p>14:30-14:40</p> <p>計 2 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国道からの生息状況の確認
---	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 15 日 (火)</p> <p>10:40-11:00</p> <p>計 3 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内外に餌を補充 ・自動撮影カメラの SD カード交換
---	---

平成 28 (2016)
年

3月 16日 (水)

10:17-11:20

計 3名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラのSDカード交換
- ・自動捕獲装置のメンテナンス作業
- ・自動捕獲装置の再設定

平成 28 (2016)
年

3月 18日 (金)

9:35-9:45

計 1名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラのSDカード交換

平成 28 (2016)
年

3月 20日 (日)

9:40-10:10

計 2名



- ・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

3 月 21 日 (月)

9:30-11:10

計 2 名



- ・メス成獣 1 頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業
- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換
- ・自動捕獲装置のメンテナンス作業
- ・自動捕獲装置の設定

平成 28 (2016)
年

3 月 23 日 (水)

11:00-11:20

計 4 名



- ・捕獲体制を終了。扉を落とし、捕獲がないように設定した

6-2. オシンコシン崎 2 囲いワナ

平成 28 (2016) 年 1 月 8 日 (金) 14:15-14:25 計 2 名	・国道からの生息状況の確認
--	---------------

平成 28 (2016) 年 1 月 10 日 (日) 10:10-10:30 計 2 名	 <p>・生息状況の確認</p>
---	---

平成 28 (2016) 年 1 月 13 日 (水) 11:40-12:00 計 1 名	 <p>・ワナ予定地外の位置に餌を設置</p>
---	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>1 月 15 日 (金)</p> <p>10:50-11:35 計 2 名</p> <p>14:50-15:00 計 2 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ワナ予定地内外の位置に餌を補充 ・ワナ予定地外に自動撮影カメラ 1 台を設置 ・国道からの生息状況の確認
---	--

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>1 月 18 日 (月)</p> <p>10:40-11:00</p> <p>計 3 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ワナ予定地内外の位置に餌を補充 ・自動撮影カメラの SD カード交換
---	--

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>1 月 22 日 (金)</p> <p>11:00-11:35</p> <p>計 3 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ワナ予定地内外の位置に餌を補充
---	---

平成 28 (2016)
年

1月 24 日 (日)

14:30-14:45

計 4 名



・ワナ予定地内外の位置に餌を補充

平成 28 (2016)
年

1月 26 日 (火)

10:35-10:45

計 1 名



・ワナ予定地内外の位置に餌を補充

平成 28 (2016)
年

1月 28 日 (木)

12:00-12:20

計 4 名



・ワナ予定地内外の位置に餌を補充

平成 28 (2016)
年

1 月 29 日 (金)

13:45-14:05

計 2 名



・自動撮影カメラのメンテナンス

平成 28 (2016)
年

1 月 31 日 (日)

11:25-11:40

計 3 名



・ワナ予定地内外の位置に餌を補充
・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

2月3日(水)

11:50-12:40

計3名



- ・ワナ外に餌を補充
- ・自動撮影カメラのSDカード交換

平成 28 (2016)
年

2月4日(木)

8:50-10:00

計3名



- ・ワナ完成後の現地立会の実施
- ・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

2月5日(金)

10:20-13:15
計4名

15:20-15:30
計2名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラのSDカード交換
- ・ワナ内に自動撮影カメラ1台を設置
- ・自動捕獲装置本体とセンサー等周辺機器の設置
- ・国道からの生息状況の確認

平成 28 (2016)
年

2月6日(土)

8:40-9:25

計3名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・センサーの調整作業

平成 28 (2016)
年

2月7日(日)

9:50-10:30

計2名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・センサーの調整作業
- ・自動撮影カメラのSDカード交換

平成 28 (2016)
年

2月8日(月)

11:30-11:50

計2名



- ・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

2月9日(火)

10:15-10:20

計2名



- ・自動捕獲装置の再設定
- ・荒天に備えて囲いワナのメンテナンス作業

平成 28 (2016)
年

2月10日(水)

10:15-10:50

計2名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・ワナ内の自動撮影カメラの交換
- ・自動撮影カメラのSDカード交換
- ・自動捕獲装置の設定

平成 28 (2016)
年

2月 11日 (木)

9:10-9:55
計 3名

14:30-15:00
計 3名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・メス成獣 3 頭、0 歳 2 頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業
- ・自動捕獲装置の再設定

平成 28 (2016)
年

2月 12日 (金)

8:50-9:50
計 3名

14:30-15:00
計 2名

15:30-15:40
計 2名



- ・オス成獣 2 頭、メス成獣 2 頭、0 歳 1 頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業
- ・自動捕獲装置の再設定
- ・国道からの生息状況の確認

平成 28 (2016)
年

2月13日(土)

9:00-9:40

計 5 名

13:15-14:00

計 2 名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カードを交換
- ・メス成獣 1 頭、0 歳 2 頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業
- ・自動捕獲装置の再設定
- ・ワナ外の除雪
- ・自動捕獲装置の設定

平成 28 (2016)
年

2月14日(日)

13:40-14:05

計 4 名



- ・ワナ内の自動撮影カメラを交換
- ・センサーガードの補修作業

平成 28 (2016)
年

2月16日(火)

14:35-15:10

計2名



・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

2月18日(木)

16:00-16:50

計3名



・ワナ内外に餌を補充
・自動撮影カメラのSDカード交換

平成 28 (2016)
年

2月19日(金)

9:50-10:15

計3名



・センサーの調整作業
・自動捕獲装置の設定

平成 28 (2016)
年

2月 20 日 (土)

9:25-11:00

計 5 名



- ・ オス成獣 3 頭、0 歳 1 頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業
- ・ 自動捕獲装置の再設定
- ・ ワナ内外に餌を補充
- ・ 自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

2月 21 日 (日)

14:10-15:15

計 3 名



- ・ ワナ内外に餌を補充
- ・ ワナ内の自動撮影カメラを回収
- ・ 自動撮影カメラの SD カード交換

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>2月 22 日 (月)</p> <p>10:30-10:45</p> <p>計 3 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ワナ内の自動撮影カメラを設置 ・ワナ内の除雪
--	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>2月 23 日 (火)</p> <p>9:40-10:05 計 3 名</p> <p>13:00-13:30 計 2 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・メス成獣 1 頭、0 歳 2 頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業 ・自動捕獲装置の再設定 ・ワナ内外に餌を補充
---	--

平成 28 (2016)
年

2月 25 日 (木)

10:05-10:40

計 3 名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

2月 27 日 (土)

13:55-14:20

計 3 名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

2月 28日 (日)

10:15-10:45

計 4名



- ・メス成獣 2頭、0歳 1頭の追い込み捕獲作業
- ・自動捕獲装置の再設定
- ・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

2月 29日 (月)

10:30-11:00

計 2名



- ・メス成獣 2頭、0歳 1頭の搬出運搬作業

平成 28 (2016)
年

3 月 3 日 (木)

14:35-15:40

計 4 名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換
- ・ワナ外の除雪

平成 28 (2016)
年

3 月 5 日 (土)

11:30-12:05

計 2 名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換
- ・自動捕獲装置の設定

平成 28 (2016)
年

3 月 6 日 (日)

9:00-9:50

計 4 名



- ・オス成獣 3 頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業
- ・自動捕獲装置の再設定
- ・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

3 月 7 日 (月)

9:30-10:15

計 2 名



- ・オス成獣 1 頭の追い込み捕獲作業
- ・自動捕獲装置の再設定
- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

3 月 8 日 (火)

9:00-9:25

計 2 名



・オス成獣 1 頭の搬出運搬作業

平成 28 (2016)
年

3 月 10 日 (木)

11:50-13:00

計 2 名



・ワナ内外に餌を補充
・自動撮影カメラの SD カード交換
・自動捕獲装置の設定

平成 28 (2016)
年

3 月 11 日 (金)

9:25-10:00

計 6 名



- ・ オス成獣 1 頭、メス成獣 1 頭、0 歳 1 頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業
- ・ 自動捕獲装置の再設定

平成 28 (2016)
年

3 月 12 日 (土)

8:50-10:40

計 3 名



- ・ オス成獣 1 頭、メス成獣 1 頭、0 歳 1 頭の追い込み捕獲作業・搬出運搬作業
- ・ 自動捕獲装置の再設定
- ・ ワナ内外に餌を補充
- ・ 自動撮影カメラの SD カード交換
- ・ センサーの調整作業

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 13 日 (日)</p> <p>14:30-14:40</p> <p>計 2 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道からの生息状況の確認
---	--

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 15 日 (火)</p> <p>11:00-11:20</p> <p>計 3 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワナ内外に餌を補充 ・ 自動撮影カメラの SD カード交換
---	--

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 16 日 (水)</p> <p>11:20-11:55</p> <p>計 3 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワナ内外に餌を補充 ・ センサーの調整作業
---	---

平成 28 (2016)
年

3月 17日 (木)

14:40-15:50

計 2名



- ・ 0歳 2頭の追い込み捕獲作業
- ・ 内 1頭を例外的にエゾシカファームへ自己搬入
- ・ 自動捕獲装置の再設定

平成 28 (2016)
年

3月 18日 (金)

9:20-9:50

計 3名



- ・ 0歳 1頭の搬出運搬作業
- ・ ワナ内外に餌を補充
- ・ 自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

3 月 20 日 (日)

10:10-10:30

計 2 名



・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

3 月 21 日 (月)

11:10-11:45

計 2 名



・ワナ内外に餌を補充
・自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

3 月 23 日 (水)

11:20-11:40

計 4 名



・捕獲体制を終了。扉を落とし、捕獲がないように設定した

6-3. 金山川箱ワナ

<p>平成 28 (2016) 年 2 月 1 日 (月) 16:00-17:30 計 2 名</p>	 <p>・除雪後の現地状況確認</p>
---	---

<p>平成 28 (2016) 年 2 月 3 日 (水) 10:30-11:20 計 3 名</p>	 <p>・ワナ外に餌を設置</p>
---	--

<p>平成 28 (2016) 年 2 月 5 日 (金) 14:40-14:50 計 2 名</p>	<p>・国道からの生息状況の確認</p>
---	----------------------

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>2月 8 日 (月)</p> <p>10:50-11:50</p> <p>計 3 名</p>	 <p>・ワナ外に餌を補充</p>
---	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>2月 12 日 (金)</p> <p>14:05-14:15</p> <p>計 2 名</p>	<p>・国道からの生息状況の確認</p>
--	----------------------

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>2月 14 日 (日)</p> <p>14:05-15:55</p> <p>計 4 名</p>	 <p>・ワナ内外に餌を補充 ・捕獲装置の動作確認</p>
--	---

平成 28 (2016)
年

2月17日(水)

15:20-16:30

計 2 名



・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

2月23日(火)

10:20-10:40

計 3 名



・ワナ内外に餌を補充
・ワナ前に自動撮影カメラ 2 台を設置

平成 28 (2016)
年

2月 26 日 (金)

13:15-15:15

計 4 名



- ワナ内外に餌を補充
- 自動撮影カメラの SD カード交換
- ワナ内外の除雪
- 捕獲装置の部品の取付け作業

平成 28 (2016)
年

2月 28 日 (日)

9:15-10:15

計 4 名



- ワナ内外に餌を補充
- 自動撮影カメラの SD カード交換

平成 28 (2016)
年

2月 29日 (月)

9:30-10:10

計 3名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・荒天に備えて箱ワナのメンテナンス作業

平成 28 (2016)
年

3月 3日 (木)

11:10-12:50

計 2名



- ・捕獲装置の設置および稼働
- ・自動撮影カメラのSDカード交換

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 4 日 (金)</p> <p>14:00-15:00</p> <p>計 2 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲状況の確認 ・ 捕獲したメス成獣 1 頭の搬出運搬作業 ・ 捕獲装置の再設定
--	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 5 日 (土)</p> <p>9:45-11:00</p> <p>計 2 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲状況の確認 ・ 捕獲したメス成獣 1 頭の搬出運搬作業 ・ 捕獲装置の再設定 ・ ワナ内外に餌を補充 ・ ワナ前に自動撮影カメラ 1 台を追加設置
---	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 6 日 (日)</p> <p>11:15-11:40</p> <p>計 4 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲状況の確認
--	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 7 日 (月)</p> <p>7:50-8:00</p> <p>計 1 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲状況の確認
--	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 8 日 (火)</p> <p>7:50-8:00</p> <p>計 1 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲状況の確認 ・ 捕獲装置の再設定
--	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 9 日 (水)</p> <p>7:50-8:00</p> <p>計 1 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲状況の確認
--	---

平成 28 (2016)
年

3月 10日 (木)

7:50-8:00

計 1名



- ・捕獲状況の確認
- ・捕獲装置の再設定
- ・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

3月 11日 (金)

7:50-8:00

計 1名



- ・捕獲状況の確認
- ・捕獲装置の再設定
- ・ワナ内外に餌を補充

平成 28 (2016)
年

3月 13 日 (日)

9:30-10:40
計 3 名

13:40-13:50
計 2 名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換
- ・捕獲状況の確認
- ・捕獲装置の再設定
- ・国道からの生息状況の確認

平成 28 (2016)
年

3月 14 日 (月)

10:50-12:10

計 3 名



- ・ワナ内外に餌を補充
- ・自動撮影カメラの SD カード交換
- ・捕獲状況の確認
- ・捕獲した 0 歳 1 頭の搬出運搬作業
- ・捕獲装置の再設定

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 15 日 (火)</p> <p>8:00-8:10</p> <p>計 1 名</p>	 <p>・ 捕獲状況の確認</p>
---	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 16 日 (水)</p> <p>8:00-8:25 計 1 名</p> <p>14:45-15:50 計 2 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲状況の確認 ・ 捕獲装置の再設定 ・ ワナ内外に餌を補充 ・ 自動撮影カメラの SD カード交換 ・ 自動撮影カメラの交換
---	---

平成 28 (2016)
年

3月 17日 (木)

8:00-8:10
計 1名

9:35-12:00
計 2名



- ・ 捕獲状況の確認
- ・ 捕獲装置の設定
- ・ 捕獲装置の部品の交換
- ・ ワナ内外に餌を補充
- ・ 捕獲した 0 歳 1 頭の搬出運搬作業

平成 28 (2016)
年

3月 18日 (金)

8:00-8:15
計 1名

9:50-11:40
計 3名



- ・ 捕獲状況の確認
- ・ 捕獲装置の再設定
- ・ ワナ内外に餌を補充
- ・ 自動撮影カメラの SD カード交換
- ・ 捕獲したオス成獣 1 頭、0 歳 1 頭の搬出運搬作業

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 19 日 (土)</p> <p>14:45-16:40</p> <p>計 2 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲状況の確認 ・ 捕獲装置の再設定 ・ 自動撮影カメラの SD カード交換 ・ ワナ内外に餌を補充 ・ 捕獲したオス成獣 1 頭、メス成獣 1 頭、0 歳 1 頭の搬出運搬作業
---	--

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 20 日 (日)</p> <p>9:00-9:40</p> <p>計 2 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲状況の確認
---	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 21 日 (月)</p> <p>9:40-11:00</p> <p>計 2 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲したメス成獣 1 頭、0 歳 1 頭の搬出運搬作業 ・ 自動撮影カメラの SD カード交換 ・ ワナ内外に餌を補充 ・ 捕獲装置の再設定
--	--

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 22 日 (火)</p> <p>8:00-8:10</p> <p>計 1 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲状況の確認
---	---

<p>平成 28 (2016) 年</p> <p>3 月 23 日 (水)</p> <p>8:00-8:10 計 1 名</p> <p>11:40-12:30 計 4 名</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲状況の確認 ・ 捕獲体制を終了。扉を落とし、捕獲がないように設定した
---	--

林野庁 北海道森林管理局 請負事業

事業名：平成 27 年度斜里町真鯉地区エゾシカ捕獲事業

事業期間：平成 27 年 12 月 15 日～平成 28 年 3 月 25 日

事業実施者：公益財団法人 知床財団

〒099-4356 北海道斜里郡斜里町岩宇別 531

知床自然センター内

TEL：0152-24-2114



表紙写真：(2016 年 2 月 5 日の捕獲時の様子)